

九州木材工業



土木用地域材需要拡大協議会で設置した試作品展示場の木製グレーチング

九州木材工業（福岡県筑後市、角博社長）が国産材の新たな需要開拓に向けて、土木用保存処理木材の開発、普及に取り組んでいる。木製ガードレール、遮音壁、グレーチング（側溝用ふた）などの土木用資材は、強度や耐久性はもちろん、割れなどが人目に立つという課題がある。だが、従来の保存処理木材とは全く異なるメカニズムにより、割れ抑制、寸法安定性、水分及びシロアリに強い「エコアコールドウッド」（福岡県の産官学で開発、特許取得済み）は、同分野でその特徴を最大限に生かせる。

2010年に八女地 地域材需要拡大協議 域の行政、木材と土木 会」が立ち上げられ 業界、研究機関、民間 た。これは、林野庁の 企業が参加して「土木 助成による全国木材協

同組合連合会の「国産 材資材等供給連携支援 事業」で採択を得たも のだが、土木用資材に 的を絞った動きとして は全国的にも珍しい例 になった。

この協議を通じて既 に実際の施工につなが り、大きな可能性を秘 めているのが木製グレ ーチングだ。既に八女

グレーチングに可能性大 エコアコールドウッドの特徴生かす

市黒木町に400坪が 採用されたほか、同市 内の物産館周りの溝全 体に採用され工事が進 められている。

また、現在は周辺自 治体からの問い合わせ が急増し担当者が説明 等に奔走しているほ

今後も様々な寸法に対 応していく。既に側溝 が必要な強度試験 を県の研究機関で行い 証明書の提出が可能な ほか、浮上防止対策等 も施している。

一方、需要者側から は「鋼材のグレーチン



試作品展示場（九州木材工業本社敷地内）の木製ガードレール

か、東京都港区の「み なとモデル二酸化炭素 固定認証制度」でも各 地域材を使ったグレー チングが採用される計 画だ。

木製グレーチング は、各自治体の要望を 反映させ、まず4種類 のタイプを用意した。

ただ鋼製では多種多様 があるため、

グは盗難に合うことが 多いが、木製ではそれ がない」「通過時にガ ちゃがちゃした音がし ない」といった高評価 を得られているとい う。これに軽量で取り 外し・掃除が楽にな る、景観上の利点、二 酸化炭素固定、リサイ クル・リユース可能な ど木材ならではの良さも 加わってくる。

一方、創業以来の商 品になる木電柱も常時 3000本を在庫して 販売している。これは が、現在は 先人の知恵を受け継 ぎ、電柱に最適なテ ーパを持つた杉丸太の直 接購入、水圧パーカー による皮むきや手彫り による節抜きを行うこ とで定評を得ているも ので、仮設引き込み線 や山間地域などで採用 されている。

存処理木材は5〜10年 先に結果が出る。慎重 に対応するため時間が かかったが、今後は開 発に拍車をかけていき たい」（角社長）。

同社では現在、ガー ドレール、遮音壁に関 しても性能を担保しな がら価格を他資材製品 に近づける開発を加速 させている。